

グローバル・プロスペクティブ・ファンド ＜愛称 イノベーティブ・フューチャー＞

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第7期(決算日2026年5月20日)

作成対象期間(2025年5月21日～2026年5月20日)

第7期末(2026年5月20日)	
基準価額	21,594円
純資産総額	313,189百万円
第7期	
騰落率	28.6%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・プロスペクティブ・ファンド」は、2026年5月20日に第7期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「アモーヴァARK ディスラプティブ・イノベーション・ファンドクラスA」円建投資証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっておりま

した。ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<644730>

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

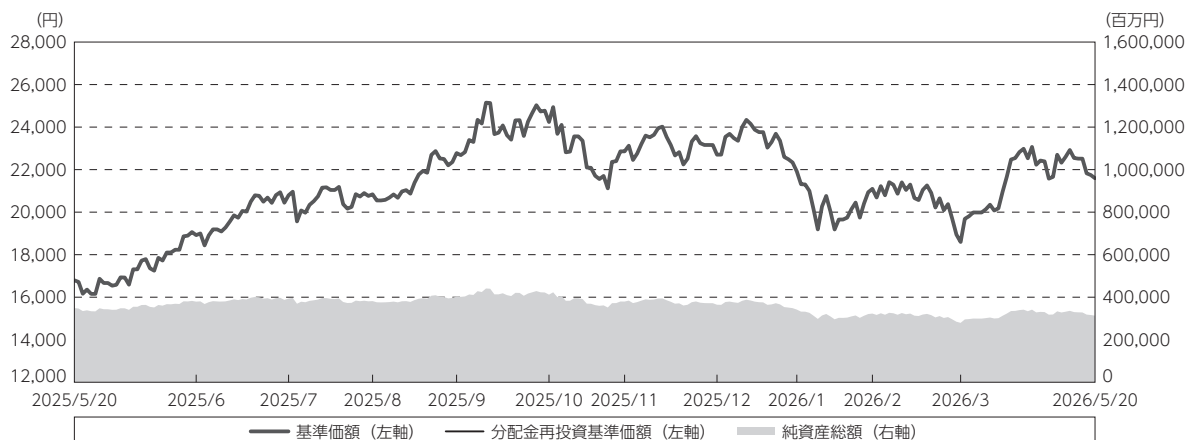
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年5月21日～2026年5月20日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年5月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式(預託証券を含みます。)を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・ AI (人工知能) 関連インフラや半導体を中心とした成長期待が株価を押し上げたこと。
- ・ 米国における利下げの実施が、長期的な成長株の評価を支える要因となったこと。
- ・ 企業業績の底堅さや戦略的提携、事業進展の確認が投資家心理を支えたこと。

<値下がり要因>

- ・地政学的な緊張のが高まりが市場の不透明感を強めたこと。
- ・2026年にかけて国債利回りが上昇（債券価格は下落）し、バリュエーション（価値評価）調整圧力となったこと。
- ・デジタル資産や暗号資産関連銘柄にとって資金環境が悪化し、逆風となったこと。

1万口当たりの費用明細

(2025年5月21日～2026年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	181	0.858	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(35)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(139)	(0.660)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(7)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(0)	(0.001)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合 計	182	0.864	
期中の平均基準価額は、21,082円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

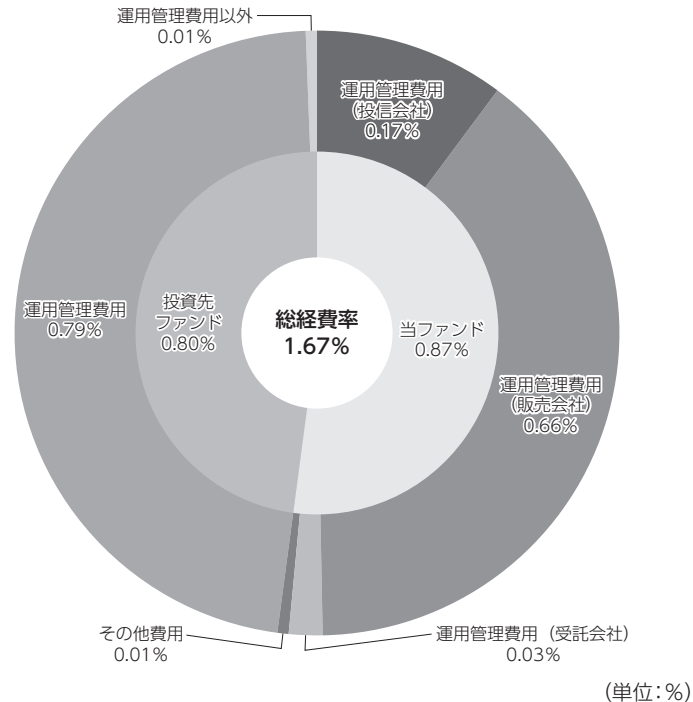
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.67%です。



総経費率(①+②+③)	1.67
①当ファンドの費用の比率	0.87
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.79
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年5月20日～2026年5月20日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、2021年5月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年5月20日 決算日	2022年5月20日 決算日	2023年5月22日 決算日	2024年5月20日 決算日	2025年5月20日 決算日	2026年5月20日 決算日
基準価額 (円)	20,724	10,416	10,075	13,447	16,794	21,594
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 49.7	△ 3.3	33.5	24.9	28.6
純資産総額 (百万円)	817,356	331,453	304,175	365,552	348,724	313,189

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2025年5月21日～2026年5月20日)

(株式市況)

米国株式市場は、2025年後半から2026年にかけて、テクノロジーおよびAI関連セクターがけん引役となり、総じて堅調に推移しました。米国連邦準備制度理事会（F R B）は、2025年夏頃まで政策金利を据え置いた後、9月から12月にかけて段階的な利下げを実施し、2026年4月にかけて再び据え置きを維持しました。2026年序盤には、イランを巡る地政学的緊張が市場の主要な変動要因となりました。ホルムズ海峡の封鎖懸念を背景にエネルギー価格が上昇し、それまで概ね安定していた総合インフレ率は再び上昇圧力を受ける展開となりました。WTI原油価格は2026年3月末にかけて1バレル100ドル近辺まで上昇し、その後も高水準で推移しました。

株式市場は、同年3月にエネルギー価格上昇とインフレ再加速への懸念から大きく調整しましたが、4月には堅調な企業業績や中東情勢の改善期待を背景に反発し、S & P 500種指数は5月にかけて過去最高値を更新しました。もっとも、その後もホルムズ海峡の通航制約や停戦交渉の不透明感が続いたほか、債券利回りの上昇も重石となり、株式市場は高値圏から調整する場面もみられました。

(国内短期金利市況)

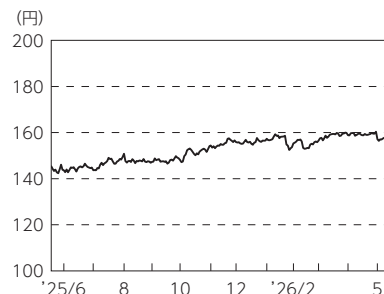
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.48%近辺から、2025年12月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.73%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.37%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.86%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2025年5月21日～2026年5月20日)

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「アモーヴァARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA」円建投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(アモーヴァARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA)

期間中の投資行動としては、グーグルの親会社であるアルファベット（メディア・娯楽）を新規に組み入れました。同社はAI分野における競争優位性の高さを武器に、持続的かつ長期的な成長を支える複数の新たなドライバーを生み出しています。生成AI「ジェミニ（Gemini）」の急速な普及やAIを前提とした検索方法の拡充、エージェント機能における初期の進展を活かして、検索サービスをマルチモーダル（複数の種類の情報を組み合わせて理解・処理する技術）かつ生成AIを活用したディスカバリー・プラットフォームへと変革しています。インフラ面においては、自社設計のAI向け半導体「TPU」への継続的な投資によってグーグルのコスト面および性能面での優位性が高まっており、社内のモデル開発効率を向上させるとともに、専用コンピューティングに対する外部からの高まる需要に 대응しています。データ、アルゴリズム、ハードウェア、クラウド・サービスを自社で一貫して管理できるグーグルは、真のフルスタックAIを提供しており、より高い機動力と競争優位性を活かして、大規模なイノベーションおよび展開を実現できる立場にあるとみています。

その他、当面のあいだAIバリューチェーン（製品やサービスが顧客に提供される過程で付加価値が生み出される流れ）のなかでも引き続き価値が高まるのはインフラ部分であるとの確信を相対的に強めたことを受けて、CoreWeave（ソフトウェア・サービス）を新規に組み入れました。同社は、業界内の主力企業からAIクラウドが高く評価されており、大規模言語モデルのトレーニング・推論を行なうインフラ提供企業のなかで最も高いパフォーマンスを発揮し続けている企業の1社です。

一方、市場のボラティリティ（変動性）が高まった局面でより確信度の高い銘柄へ投資するためにピントレスト（メディア・娯楽）の保有を解消しました。ザ・トレードデスク（メディア・娯楽）については、より確信度の高い広告プラットフォーム銘柄へとポジションを集約すべく、組み入れを解消しました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年5月21日～2026年5月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2025年5月21日～2026年5月20日)

分配金は、基準価額水準や市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第7期
	2025年5月21日～ 2026年5月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,594

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「アモーヴァARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA」円建投資証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(アモーヴァARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA)

引き続き、主として日本を含む世界の金融商品取引所に上場されており、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式(預託証券を含みます。)に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、破壊的イノベーションに関連するテーマを幅広く調査し、社会課題解決への寄与という観点を加味して投資対象銘柄を選別していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

約款変更について

2025年5月21日から2026年5月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。

- ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第16条)
- ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第49条)
- ③また、当ファンドが投資対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人「日興AMARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA」の名称を「アモーヴァARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA」に変更いたしました。(付表)

なお、当該外国投資法人の投資顧問会社である「日興アセットマネジメント アメリカズ・インク」は、2025年9月1日付けでその社名を「アモーヴァ・アセットマネジメント・アメリカズインク」に変更いたしました。

当ファンドについて、「一般社団法人投資信託協会」の合併に伴ない、その記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更すべく、2026年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第8条)

その他の変更について

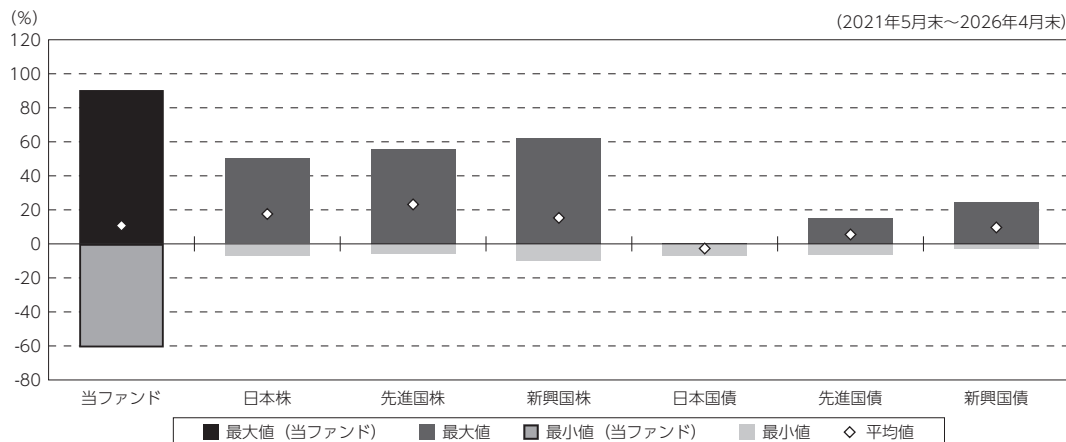
当ファンドの投資対象であるルクセンブルグ籍外国投資信託「日興AMARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA」(以下、投資対象ファンドといいます。)につき、管理会社である「日興AMルクセンブルグ・エス・エイ」が、2025年7月1日付で事業譲渡され、Apex Group傘下の「ファンドロック・マネジメント・カンパニー・エス・エイ」に変更となりました。同社は、ルクセンブルグにおける大手のファンド管理会社です。なお、投資対象ファンドの運用に関して、運用方針や運用体制に実質的な影響はございません。また、信託報酬の総額は変更ございません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式
信 託 期 間	2019年6月28日から原則無期限です。
運 用 方 針	主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式（預託証券を含みます。）を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「アモーヴァARKディストラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA」 円建投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」 受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式（預託証券を含みます。）を投資対象とする投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資信託証券の合計組入率は、高位を保つことを原則とします。各投資信託証券への投資比率は、原則として、市況環境および投資対象ファンドの収益性などを勘案して決定します。
分 配 方 針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	90.4	50.5	55.7	62.1	0.6	15.3	24.5
最小値	△ 60.9	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	10.7	17.6	23.2	15.3	△ 2.7	5.5	9.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年5月から2026年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日 株: TOPIX (東証株価指数) 配当込み

先進国株: MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●TOPIX (東証株価指数) 配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年5月20日現在)

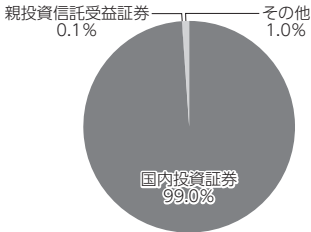
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
アモーヴァARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA	99.0
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

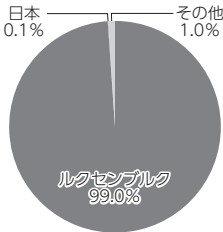
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

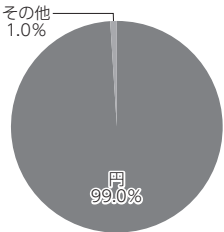
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資証券には外国籍（邦貨建）の投資証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第7期末
	2026年5月20日
純資産総額	313,189,954,072円
受益権総口数	145,033,821,319口
1万口当たり基準価額	21,594円

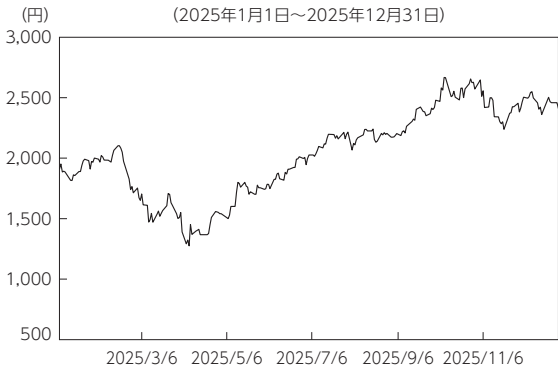
(注) 期中における追加設定元本額は4,919,936,888円、同解約元本額は67,530,874,707円です。

組入上位ファンドの概要

アモーヴァARKディストラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA

【基準価額の推移】

(2025年1月1日～2025年12月31日)



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2025年1月1日～2025年12月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2025年12月31日現在)

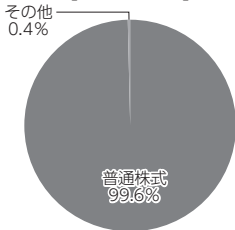
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	TESLA INC	普通株式	アメリカドル	米国	8.8
2	ROBINHOOD MARKETS INC - A	普通株式	アメリカドル	米国	5.8
3	SHOPIFY INC - CLASS A	普通株式	アメリカドル	カナダ	5.3
4	COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	普通株式	アメリカドル	米国	5.0
5	ROKU INC	普通株式	アメリカドル	米国	4.8
6	PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	普通株式	アメリカドル	米国	4.4
7	TEMPUS AI INC	普通株式	アメリカドル	米国	4.2
8	ROBLOX CORP -CLASS A	普通株式	アメリカドル	米国	3.7
9	ADVANCED MICRO DEVICES	普通株式	アメリカドル	米国	3.5
10	BEAM THERAPEUTICS INC	普通株式	アメリカドル	米国	3.0
組入銘柄数		47銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

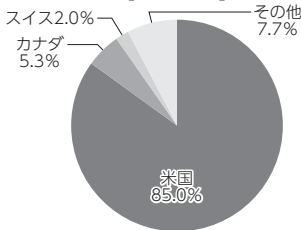
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

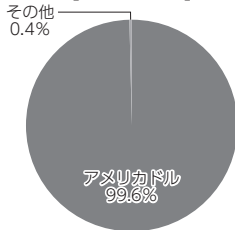
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



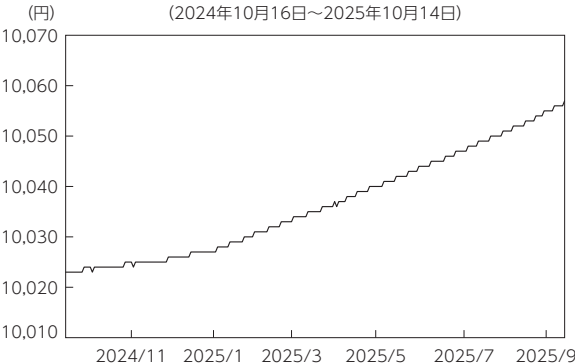
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年10月16日～2025年10月14日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2025年10月14日現在)

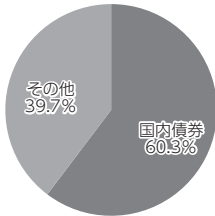
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	第454回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	60.3%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		1銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

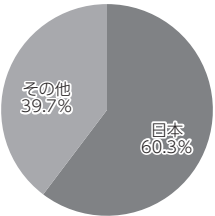
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

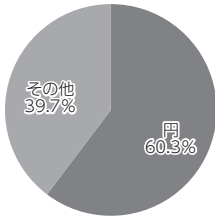
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。